



生活支援体制整備事業

お互いさま ひろお通信

「地域づくりから育つひろおの支え合い」

第9号 2019年10月

大切なのは友達!! 自然の幸との結びつき

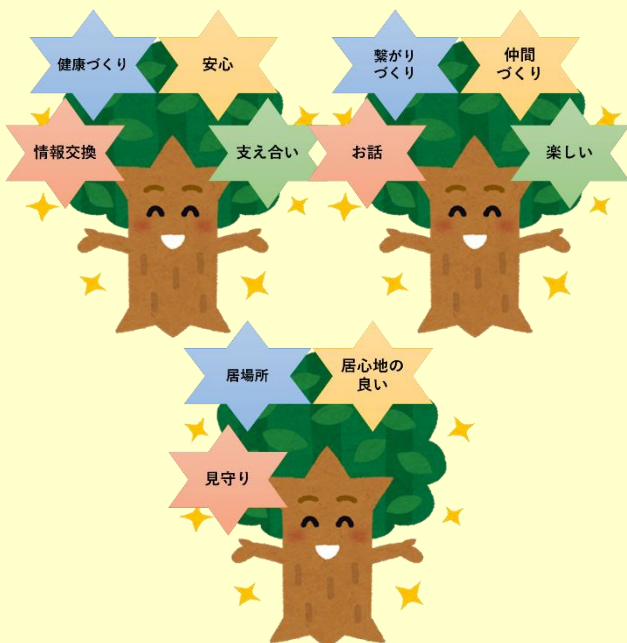
今回の主役は**大庭ひとみ**さん。
大庭さんは、野菜作りや自然の幸を収穫しながら、友達と交流しています。今回はキノコ狩りを行っている場にお邪魔しました。
今回一緒に参加していた女性は、大庭さんと同じ関西出身の方です。広尾町で暮らしていくにあたって、同郷の方がいることはとても心強いと思います。

午前9時に2人は集まり(筆者が道に迷い時間は伸びましたが)キノコ狩りが始まりました。今回の狙いは落葉キノコとシメジです。「落葉キノコは根っここの部分を持って取るんだよ」や「シメジは生えている場所によって若干形が違う」など、キノコに関わる情報が次々と出てきました。

キノコ狩りが一段落した後は、地べたに座り収穫したキノコのおいしい食べ方の情報交換です。「落葉キノコは大根おろしと一緒に食べたり、みそ汁に入れるとおいしい」や「シメジは天ぷらにするとおいしい」と話していました。話の流れで大庭さんは、よりキノコをおいしく食べられるように、自分が育てた野菜もあげてい



大庭さんの活動に 育っていた実(意味)



ました。話を聞いてみると、大庭さんは野菜作りを始めようとする人がいれば、**自分が育てている野菜を提供し、育てるコツなどを伝えていく**とのこと。
また、**自分が育てたものを近所にお裾分け**しています。お楚々分けには、**繋がりを生む効果や自然な見守り**にもなっています。みなさん一度は経験したことがある人が多いと思いますが、実はお裾分けには大切な意味が込められています。
大庭さんがなぜここまで繋がりを大事にするのか、そう考えた時、「**一人だと寂しい、友達と楽しいことをするのが一番**」と話していたことをふと思い出しました。やはり、自分住む町に心を許せる友達がいるという事は大事なことだと感じます。
タイトルに「**自然の幸**」という言葉を使っていますが、ここでは二つの意味で使っています。一つはキノコ狩り。もう一つは**一緒にいて自然と楽しい時間を過ごせる友達**です。友達と楽しい時間を過ごせるという事は、幸に結びつく**宝物**と呼んでもいいのではないのでしょうか?これから、友達と楽しい時間を過ごしてください。